

ぶぢか

議会だより

第107号 2019.3.31



contents

- 北松西高校 3年生卒業レポート 町への提言・・・2～
- 小値賀中学校 3年生 議場で町長に熱く質問・・・6～
- 新年度予算決まる バリアフリー工事着工へ・・・12～
- 30年度補正予算 小中学校にエアコン設置・・・21
- 町長！ 高校生の提言を町の施策として実現を・・・22～
- 町長！ 町政継続のため三選出馬は・・・24～
- 議員の任期4年の活動まとめ・・・27

写真：高校生卒業レポート発表を前に
(画像を一部加工しています)



未来を自分ごととしてとらえ 行動を起こそう



～北松西高生 卒業レポート発表～

平成 30 年 12 月、昨年度に引き続き、北松西高校 3 年生の卒業レポート発表会が行われました。小中高一貫教育の最終ゴールがこの「町議会・町行政への提案」で、本物の議員に対し、ホンモノの議場で生徒全員が発表する貴重な体験です。ふるさと小値賀町が抱える課題の現状と背景をフィールドワークを通じて分析し、解決策を提案しました。



静かな緊張感が本会議場に広がっています



在校生からの質問もありました

卒業レポート

魚屋諒大くん
北村仁大くん
近藤優誠くん
藤屋凜太郎くん
松永光希くん

空き家を活かし子育て環境の充実を



聴いている人が理解しやすいように発表します



テーマ設定の理由は

小値賀町では高齢化が進み、このままでは町が衰退する。これを食い止めるために、町内に数多くある空き家を解体せずに活かすことで、地域活性化を図りたいと考えた。空き家を活かすことで、これから小値賀に住む人だけでなく、現在町内に住んでいる人のためにもなると考えた。

いくつか提案を

- ① 建築士志望の学生や、実験的に建物を造ってみたい建築士に空き家を提供してはどうか。
- ② シェアハウスに改築すれば、一棟貸しに比べ、住人の退去により再び空き家になるリスクが小さいのではないか。
- ③ 小値賀の活性化のために、子育て環境を整えることが必要だ。町内には雨の日に室内で遊ぶ場所がない。キッズルームやコミュニケーションスペースにしたらどうか。

実現に向けて

空き家をキッズルームやコミュニケーションスペースにリフォームすると、完成後、多くの人に利用される可能性が高いと思います。しかし、リフォームするには1軒で500万円以上かかってしまう可能性もあります。費用を抑えるため、設計は実験的に取り組みたい建築士や建築士志望の学生に依頼し、資材費等を町が負担すれば、実現の可能性は高いのではないのでしょうか。

橋本大輝くん
 牧尾元暉くん
 川村咲月さん
 神田瑤江さん
 坂井星香さん



突然の質問にも落ち着いて対応できました



産婦人科医と小児科医を定期的に

研究の動機は

小値賀町の合計特殊出生率は1.72と、日本の平均1.43より高くなっている。

だが、若年層が転出していることにより、労働力の中心となる生産年齢人口は減り続けている。

小値賀の子育て問題を解決することで、現在、島内で子育てをしている家族が少しでも多く子どもを産むことができ、また、子育て世代の移住者を増やすことで少子化問題を改善できるのではないかと考えた。

見えてきた課題

こども園へのヒアリングや母親へのアンケートで、いろいろな課題が見えてきた。

産婦人科や小児科が少なく不安。

船便が少ないことや緊急時に島外に出にくいことが不安。

公園などの遊び場が少なく、また、遊具が改修されずに危険な状態で放置されていることに不安を感じている。

それらの不安から、子育て世代は小児科の設置や雨の日でも遊べる室内遊技場を求めている。

また、こども園への6か月未満児の受入を求めていることもわかった。

少子化改善のために

①産婦人科と小児科の専門医を週に一度定期的に呼ぶこと。

②空き家を雨天時でも屋内で遊べるように改装すること。

③こども園の予算を拡充して保育士の基本給の増額を図り、地域住民の人材確保にもつなげる。

この研究を行う中で、町が少子化改善に向けてさまざまな取り組みをしていることがわかり驚きました。

これからもいろいろな子育て支援の制度を続け、これまで以上に子育てをしやすい町になってもらいたいと思います。



小値賀町民全員が「自分ごと」としてとらえ、行動を

崎村健大くん
博多屋颯汰くん
永田彩香さん
橋本彩さん



町全体で「じげ藻ん作戦」に取り組もう

研究の動機は

漁場や漁具等の自主規制、稚魚の放流や藻場対策などの資源保全活動をしているにもかかわらず、漁獲量が減ってきている。特にアワビは急速に減少している。その原因としては、高齢化による漁業者数の減少、地球温暖化による海水温の上昇、海藻類の減少、磯焼け等が考えられる。このままでは、小値賀の魚を食べることが難しくなる時代が来るのではないかと危惧している。そのためにも、アワビや魚のえさとなる海藻を増やすことが重要だと考えた。

藻を増やすためには

- ①湧昇流を起こす。海底に沈んでいる栄養塩を有光層まで巻き上げること、海藻が吸収しやすくなり成長を促すことができるが、費用的に実現は難しい。
- ②広葉樹を植える。フルボ酸が増加して鉄と結びつき、海藻が吸収しやすい形となって成長を促すが、木が育つ時間が長くなる。
- ③使い捨てカイロとクエン酸から作られた鉄炭団子を海に投入し、海藻の成長に必要な鉄分を補給させる。

自分ごとにしてしよう

まず私たち自身が地元の海に関心を持つことが大事だと思います。私たちがだけでなく、島民全員が、小値賀の藻場が直面している問題を「自分ごと」としてとらえ、行動に移す必要があります。鉄炭団子の考案者である杉本幹生氏を招いて直接指導していただき、それを用いた藻場の回復活動を小中高一貫教育の行事として始め、その活動を町全体に広めていきたいと考えています。町全体での取り組みに「じげ藻ん作戦」という名前を付けました。

過去と現在を学び 未来について考え 意見する



～ 値中3年生 模擬議会 ～

～ふるさとの小値賀町をいつまでも輝く町にしていきたい～

小値賀中学校3年生全員による「模擬議会」が1月に開催されました。

正式な議会と同じように、町長以下役場執行部が着席する中、生徒一人ひとりが町長に対し、熱い思いを質問しました。

彼らのいろいろな思いをどうやって政策に反映させるか、単なるイベントになってしまわないよう、議会のチカラが試されます。



議長の大役は西菜璃子さん



教室での事前学習も貴重な経験です

模 擬 議 会

博多屋心議員

離島留学 受け入れ改善を



「これから、町の行事への参加や学習をがんばっていきます。」

問 移住定住者を増やしていきたいので、島外から子どもを呼び込む離島留学制度の、留学受け入れ年齢を広げたり、留学期間を一年間ではなく、もっと長くしてはどうか。

答 本校的な実施が可能かの判断はこれからですが、私としては、博多屋議員からこのように前向きな提案をいただいたことを大変うれしく思います。

答 西浩三町長

「ふるさと留学協議会」で、実際に短期間の留学生の受け入れを行うなど、本当に離島留学制度が可能か検証を行ってききました。

その結果、小学生から



問 小値賀町の情報を特に若者の間で流行の「TikTok」や「Instagram」などを使って国内外に発信してはどうか。

答 小値賀町の情報を特に若者の間で流行の「TikTok」や「Instagram」などを使って国内外に発信してはどうか。また、YouTubeで町のCMを作り、若者の注目が集まれば、小値賀が世界に知れ渡るのではないかと。またご質問のように、YouTubeを活用した動画でのPRについても、小値賀の魅力が発信できると思いますが、早く実現できるように考えていきます。

答 西浩三町長

ご質問からも、さまざまなアプリで若者が日々情報を入手していることを改めて感じています。

外国からのお客様も少しずつ増えていることから、効果的なアプリを取

小値賀の情報 国内外に発信を



「将来、小値賀に貢献できる大人になれるようがんばります。」

崎元愛琴議員

出口聡士議員

小値賀でトライアスロン大会を



「今日学んだことをこれから生かせるようにしたいです。」

問 町民に小値賀の良さについて聞くと、「海がきれい」、「魚がおいしい」、「星がきれい」などの声がたくさん聞こえる。

答 小値賀の魅力を発信できるような魅力や島の自然を満喫できるトライアスロン大会を小値賀で開催してはどうか。

このような魅力や島の自然を満喫できるトライアスロン大会を小値賀で開催してはどうか。

しかし、大会を実施するためには安全面や宿泊場所の確保などいろいろな問題点もあり、町内の関係機関の皆さんの意見も伺いながら検討していきたいと思えます。

答 西浩三町長

出口議員の今回の提案は、今後のまちづくりの役立つアイデアの一つだと思います。

小値賀の魅力や良さを活かした「おちかトライアスロン大会」を開催で



杉谷保香議員

はまゆうをもっと便利に



「小値賀町民の一人としてこの経験を生かし生活していきたい。」

問 町営船「はまゆう」を増便したり、運航時刻を利用しやすいようにしてほしい。橋は架けられないか。

船に頼る大島の住民の生活が便利になり、町の人口増加も期待できるのではないか。

答 西浩三町長

「はまゆう」は利用者が少ないため、採算がとれず、国や県からの補助金をいただいで航路を維持しています。

運航するたびに赤字になるこの航路を増便する



ことは、難しいです。

運航ダイヤは大島に住む方々と協議をして作られました。もしご要望がありましたら、ご相談してくださいと思います。

橋は、せつかくのご質問ですが、費用と効果を考えると実現は難しいと考えます。

問 少子高齢化が進んでいるが、高齢者も健康で長生きしてほしい。

走ったり、歩いたり、歩数が多かった人に景品を贈呈するなど、一カ月に一度「長生きDay」を設け、体力向上や運動習慣に対する意識を高めてはどうか。

答 西浩三町長

町では、高齢者の方々が健康で長生きできる取り組みをいろいろしています。

その中の「スクエアステップ」や「いきいき百歳体操」をより多くの地

区で展開していこうと考えています。

川本議員の提案する「長生きDay」については、老人クラブの人たちとの協議も必要ですが、年に一回程度の開催はできるのではないかと思います。

ご提案ありがとうございます。

月に一度 長生きDayの開催を

川本健斗議員



「今回学んだことを生かして生活していきたいです。」

古田憂也議員

海藻を増やす取り組みは



「世界の人にも小値賀の魅力伝えていきたいと思います。」

問 美しい海とたくさん魚を守っていくには海藻を増やすことが大切だ。

町ではガンガゼや海藻を食べる魚の駆除をしているが、海藻は増えたか。また、駆除したガンガゼや魚はどうしているか。

答 西浩三町長

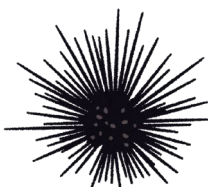
地球温暖化の影響などで、海藻を昔のような状態にすることは大変難しいことです。

しかし拠点を作り、その範囲をだんだん広げていくなど、海藻を増やす

取り組みは計画しています。

ガンガゼは、醤油への加工や食べる習慣のある地域に送ったことがありますが、出荷費用や加工の難しさがあります。

駆除した魚は、加工品として研究する必要があります。皆さんからのアイデアを待っています。



問 医師が一人で多くの人の診療をするのは厳しいと思う。

私の将来の夢は保育士で、小値賀に帰ってくる予定だが、医師が一人では安心して島に戻れない。少しでも早く医師を増やしてほしい。

答 西浩三町長

今、常勤医師は一人ですが、週に3日は診療応援の医師が来ています。

また、月に2回、週末に診察に来てくれる医師と、地域医療の研修に毎月2名の医師が来ていま

す。

これらにより、常勤医師の負担が減り、休みを取ることもできています。

医師がもう一人必要なのは理解しており、一日でも早く確保できるようにこれからも努力を続けていきたいと考えています。



医師は2人の体制で

北野唯奈議員



「しっかり学習して小値賀に帰り、町に恩返ししたいです。」

橋本龍輝議員

高齢者への生活支援の強化を



「これからも町民が生き生きとした町づくりをお願いします。」

問 老後も安心して小値賀で暮らせるように、高齢者への生活支援をもっと強化できないか。

こども園利用者の家庭の負担額を増やしたり、中高生の部活動の遠征費の補助を減らせれば、資金的には可能だと思う。

答 西浩三町長

小値賀町の高齢者への支援は、活いき敬老パスの交付や敬老祝い金、配食サービスやホームヘルパーサービスなどがあります。

橋本議員の、わが身を

削つても高齢者への支援を充実すべきだとの考えには頭が下がる思いです。

しかし、町の宝である子どもたちを支援していくこともとても重要なことだと考えており、これらの予算を減らすことがないようにしていきたいと考えています。

問 小学校で作っているお米や小値賀カレンダーなど、町内だけの販売ではもったいない。

小値賀で作ったものを他県に販売すれば、小値賀の魅力を知ってもらえ、観光客も増えるのではないかと。

答 西浩三町長

小値賀カレンダーは、郷土愛をはぐくみ、大人では気づきにくい町の魅力を発見してもらおうと始まったもので、町外にも郵送で販売しています。

小学校で作っているお米は量が少ないので、町外のイベントなどでカレンダーなどと一緒に販売することはできると思います。

実際に小値賀に来ていただくためのいろいろな取り組みが、町外でも売れることにつながるのではないかと思います。



小値賀のものを町外で販売を

門脇衣純議員



「小値賀のことをもっと知り、積極的に取り組みに参加したい。」

「小値賀アプリ」を作っては



「これからの小値賀を支える者として問題の解決に取り組むたい。」

問 公共交通機関やインターネット環境などの不便さが小値賀の人口減少につながっている。

お店の割引クーポンがいたり、アクティブなゲームが配信されるような「小値賀アプリ」を作り、少しでも住みやすい環境を作ってはどうか。

答 西浩三町長

小値賀町では今年、光ケーブルが整備され、使えるようになります。

これを町民の皆さんや観光客のためにどのように有効的に活用するか、今検討しています。



遠山議員の提案や若い人たちの意見も取り入れながら、少子高齢化、人口減少問題解決のための一つの手段としてアプリの開発に取り組んでいきます。

皆さんの学校の授業の中で取り組むことはできないか、検討をお願いしたいと思います。

新船フェリー「いのり」 トピックス

5月12日就航(予定)



広島県尾道市で建造されました



九州商船の新船フェリー「いのり」の進水式が2月6日に行われました。

本船は航海中の横揺れを防ぐアンチローリングタンクが、また、離接岸の効率化を図るためのバウスラストやバルブ付き高揚力舵も備えられています。

バリアフリー客室やエレベーターもあり、高齢者や身障者にも優しい船になっています。

さらに遊歩スペースや旅客用展望回廊もあり、観光客にも喜ばれるのではないのでしょうか。

なお、就航は現在のところ、5月12日の予定です。

「いのり」要目と他船との比較

船名	いのり(新船)		なるしお	太古(野母商船)
総トン数	1,450トン		645トン	1,598トン
旅客定員	2等	334名	340名	350名
	2等指定	78名	60名	
	バリアフリー	20名	—	
	計	432名	400名	
最大自動車航送台数	46台		22台	55台



進水式の様子を動画どうぞ

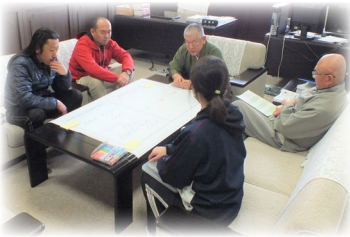
議員と住民の直接対話

「フリートーク」 2回目

フリートーク

小値賀の未来を考える ～他人ごとではなく自分ごと～

20年後の小値賀のあるべき姿は？



小値賀町民が町会議員と直接話す機会を作ろうと、2回目の「フリートーク」を開きました。
前回は、20年後の小値賀町の姿を想像していただき、人口減少問題は他人ごとではなく自分たちのこと、何とかしないといけないという危機感を共有していただきました。
今回は、20年後の小値賀町がどのような町であってほしいか、そのために何をしたらいいのか、皆さんの想いを伺いました。

20年後にあるべき小値賀町の姿は？		課題と対応策、目指すべき姿		
		仕事	暮らし	航路
<p>どうありたいの</p> <p>人口 1250人</p> <p>2</p> <p>1072</p> <p>日本全体 1億人</p> <p>高齢者↔若者</p> <p>1.5人:1人</p>		<p>農業・林業 海外観光客 受け入れ</p> <p>観光・宿泊業 観光客の受け入れ</p> <p>観光・宿泊業 観光客の受け入れ</p> <p>観光・宿泊業 観光客の受け入れ</p>	<p>住居の整備 (高齢者対応)</p> <p>2階建の確保</p> <p>防災・防犯 防災・防犯</p> <p>防災・防犯 防災・防犯</p>	<p>平戸航路</p> <p>長島航路</p> <p>観光・宿泊業 観光客の受け入れ</p> <p>観光・宿泊業 観光客の受け入れ</p>
		教育	医療	その他
		<p>福祉 子育て 子育て支援</p> <p>福祉 子育て 子育て支援</p>	<p>医療 高齢者 高齢者</p> <p>医療 高齢者 高齢者</p>	<p>小値賀の歴史 小値賀の歴史</p> <p>自然 公園 自然 公園</p> <p>風土 民俗 風土 民俗</p>

20年後にあるべき小値賀町の姿は？		課題と対応策、目指すべき姿		
		仕事	暮らし	航路
<p>オーストラリアとアタラシク復活！</p> <p>オーストラリアとアタラシク復活！</p> <p>人口減をいかにくい止めるか！</p> <p>交流人口をさらに増やす努力を！</p> <p>学校の存続をしっかりと維持する！</p> <p>少子化を少しでも改善する施策を！</p> <p>老人を島外以外(着陸)に存続を！</p> <p>医師の確保(医療施設充実)</p> <p>海上(空)の便の創用はできるか？</p> <p>マフロン 大島に橋を掛ける！</p> <p>最終処分場を分離できるか？</p> <p>島外に向けた産業育成に力を入れる！</p> <p>トリアンボのイベントを創る(何らかの？)</p> <p>温泉を掘る！</p>		<p>観光 観光</p> <p>観光 観光</p> <p>観光 観光</p>	<p>住居の整備 (高齢者対応)</p> <p>2階建の確保</p> <p>防災・防犯 防災・防犯</p>	<p>平戸航路</p> <p>長島航路</p> <p>観光・宿泊業 観光客の受け入れ</p> <p>観光・宿泊業 観光客の受け入れ</p>
		教育	医療	その他
		<p>福祉 子育て 子育て支援</p> <p>福祉 子育て 子育て支援</p>	<p>医療 高齢者 高齢者</p> <p>医療 高齢者 高齢者</p>	<p>小値賀の歴史 小値賀の歴史</p> <p>自然 公園 自然 公園</p> <p>風土 民俗 風土 民俗</p>

想いを共有することから始まります

定例3月会議

平成31年3月7日～3月15日 開催



定例会議は午後7時からの開催。多くの方が傍聴に訪れました

バリアフリー いよいよ着工

小値賀港新ターミナル 31年度中に完成へ

新年度予算が可決成立

平成31年定例3月会議は、平成31年3月7日から9日間の日程で開催されました。

条例の改正が2件、指定管理者の指定についてが2件、監査委員選任の同意などのほか、平成31年度一般会計予算と7つの特別会計予算の議案が町長から提出されました。

慎重な審議の結果、すべての議案に全員が賛成し、可決成立しています。

また、平成30年度一般会計と特別会計の補正予算についても全員が賛成し、成立しています(21頁)。



一般質問は、町のいろいろなことについて、町長等に説明を求めたり、所信を訪ねたりします

一般質問は2名

一般質問では、今田光弘議員が「高校生卒業レポート」による提言の町政での実現に向けて、「宮崎良保議員は「町政の継

続について」町長に質問しました(22頁)。

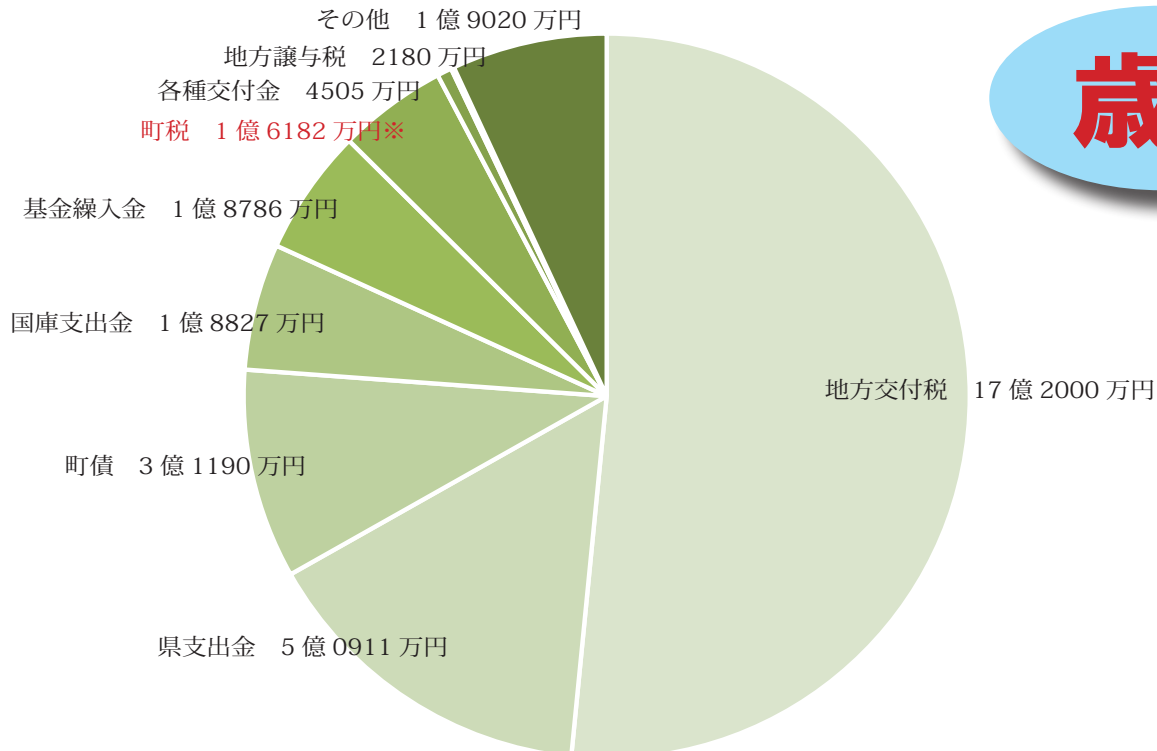
一般会計予算

歳出

予算総額 33 億 3600 万円

農林水産業費	9 億 3568 万円	農林水産業の振興や松くい虫防除などに要する費用
民生費	6 億 5506 万円	社会福祉、児童福祉、生活保護などに要する費用
総務費	3 億 9625 万円	役場全体の維持管理、世界遺産、徴税などに要する費用
公債費	3 億 6986 万円	町債として町が借りたお金を返済する元金と利子
衛生費	2 億 9537 万円	保健衛生、環境衛生、健康、清掃などに要する費用
教育費	2 億 0376 万円	小中学校、公民館、総合センターなどの管理に要する費用
土木費	1 億 7288 万円	道路や町営住宅の維持管理などに要する費用
商工費	1 億 2672 万円	商工業の振興や観光に関する費用
消防費	9811 万円	消防団や消防署などに要する費用
議会費	5217 万円	議会運営や議員に係る費用
その他	3014 万円	諸支出金、予備費など
合計	33 億 3600 万円	(詳しくは「おぢか新聞」4月号をご覧ください)

歳入



※小値賀町民一人当たりの町税額 = 約 6 万 6500 円

一般会計

町民一人当たりの予算

約 137 万円 !

(参考: 佐世保市 = 約 50 万円、新上五島町 = 約 80 万円)

何？ どうして？

予算特別委員会

平成 31 年度予算審査は、予算特別委員会（委員長 = 土川重佳議員）にて、3 月 8 日から一般会計と 7 つの特別会計ごとに行いました。

- ・子育てや起業・事業拡大に対する支援、産業振興だけでなく、各分野での人口減少の解決に向けての取り組みを強化する。
- ・「総合計画」や「まち・ひと・しごと総合戦略」の成果等を分析し、必要に応じて強化・見直しを図る。
- ・離島活性化交付金や有人国境離島交付金、過疎債・辺地債を最大限に活用しつつ、産業振興基金・ふるさと寄付金の活用も含めた積極的な企画・立案を行う。
- ・担当者や係の中だけでなく、全職員、町民、各種団体等、小値賀町の総力を結集して企画・立案に取り組む。
- ・施設の老朽化が進んでおり、トータルコストを抑えることを念頭に、施設全体の点検・診断、耐力度調査、耐震化計画等の対策を講じる。

この予算編成方針を踏まえて編成された平成 31 年度予算。

委員長を除く 7 名の議員が、町長・副町長を始めとする執行部に対し、実に 100 項目に及ぶ質疑を行い、議論白熱の 3 日間。原案どおり全員賛成し、可決成立しています。



時には激しい論戦になることも。左端が土川重佳委員長



予算を提出できるのは町長だけ

予算審査

主なやりとり

総務課関連

問 公共交通空白地有償運送事業への補助金とは。

答 社会福祉協議会が行っている移送サービスの経費を補助する。

4月から、車の運転免許を持たない町民や町外からの来訪者も利用でき、当日予約も可能になる。

問 新たに始まる定住支援員事業とは。

答 定住者を増やすため、受け入れに関係するいろいろな仕事を専門的に行う人を配置する。毎年継続的に業務委託していきたい。

問 非常食備蓄品の量は。

答 人口の5%の3日間の食料を随時更新していくことを基本として考えている。

毛布の備蓄も行っている。



まずは各家庭での備えを

福祉事務所関連

問 生活保護世帯はどれくらいあるのか。増える見込みか。

答 廃止も新規もあるが、毎年30ケース前後だ。困窮相談もあるが、生活保護に移行しないように支援していく。

問 こども園の改修事業の主な内容は。

答 老朽化した空調設備の交換や、プレイルームの天井と床の改修を予定している。

産業振興課関連

問 ターミナルのバリアフリー工事の内容は。

答 西側玄関の方からエレベーターか階段で2階に上がり、「F」字型に「太古」用と「いのり」用の搭乗口を別々に設置する。

ターミナル内のレンタサイクルは、建物の外に設ける自転車置き場に移動する予定だ。



浦英明議員

問 水産物加工場の稼働から1年。今の状況と今後の見通しは。

答 当初5名が従事していたが現在は2名。なかなか人が集まらない状況だが、早く軌道に乗るようしつかり取り組んでいきたい。



松屋治郎議員



今田光弘議員

主なやりとり

(産業振興課関連つづき)

問 観光は、町全体が一つのチームとして連携し、一枚岩になって進んだ方がいいのでは。

答 協議会のようなものを作る動きもあるが、観光客の受け入れ態勢も不十分で、町全体がまとまるのは難しい現状だ。



宮崎良保議員

問 観光に力を入れるのであれば、CMを作り、テレビで流してはどうか。

答 観光客のニーズが多いのはSNSで、これを利用して情報発信を進めていく。

建設課関連

問 海岸漂着ごみの処理には多くの費用がかかる。本来、町の負担ではなく国が負担すべきではないか。要望はしているのか。

答 継続的に離島全体で要望はしているが、定量的なわずかな財政支援しか受けられていないのが現状だ。

問 葬斎場が、老朽化によりかなり傷んだところがあるという話を耳にするが、管理は適正に行われているのか。

答 毎年、老朽化の点検を行い、保安管理も適正に行い、必要に応じて修繕も



横山弘藏議員

繕も行っている。現在も修繕を依頼中だ。

問 大型の生ごみコンポストが満杯に近い状態だ。今後どのように対応するのか。

答 ごみ焼却場横の2台は、生ごみの量が多くて分解が追いつかず、効果が出ていないため、対策を講じる。

小浜町に設置したものは順調に稼働していることから、設置場所の環境を考慮しながら町内各地へと広げ、ごみの減量化につなげていきたい。



よく水気を切ってから捨てましょう

教育関連

問 図書館として、読書欲を高めるために読書感想文の募集をするなどの取り組みを考えては。

答 良いアイデアだと思うので検討していきたい。

問 歴史民俗資料館は町の大きな観光ポイントだ。もっと宣伝してはどうか。

答 小値賀の魅力を感じることが出来る施設であり、観光部局と連携して進めていきたい。



末永一朗議員

西九州させば広域都市圏形成事業関連
9つの事業の負担金



佐世保市を中心とした11の市町が連携します

野崎島の町道の一部無電柱化のための
測量と設計の費用



自然学塾村周辺の電柱がなくなります

地域福祉センターの外壁やトイレ等の
水回りの改修工事



昨年度は浴室等を改修しました

学校と図書館が連携するシステムを新
しくします

224万円

今年度の主な 新規事業

事業の効果が効率的に発揮されるか、
議会は注視していきます。

社会福祉協議会が運営する「移送サー
ビス」の運行経費の補助金



9時から17時まで利用できます

こども園のプレイルームのフローアーや
天井の改修工事費用



昨年度は雨漏りする屋根を補修しました

専門の定住支援員による定住者受け入
れ体制の基盤強化と情報発信の強化

370万円

長期滞在型ツアー開発や情報発信、移
住につながる地域づくりプロジェクト

1250万円

こども園の遊具を整備します

1000万円

定住者を増やすために空き家を2軒
改修します



定住者向けの住宅は11棟になりました

農水産物の海上輸送にかかる経費を補助します



小値賀の基幹産業は農業と漁業です

松くい虫対策のための農薬散布や伐採・焼却などに係る費用



国の財政的・技術的支援が必要です

担い手公社の運営を補助します

1800万円

今年度の主な 継続事業

小値賀町民全体の福祉につながっているか、議会は注視しています。

ターミナルバリアフリー化のための
ボーディングブリッジ等の工事



島に暮らし続けることができるよう雇
用の場を増やすための取り組みへ



3年目の取り組み。町に活気が戻ってきました

こども園等の保育料の実質無料化のた
めの費用

1150万円

定期航路の運賃を国と県と町で5割
負担します

1300万円

消防団や消防署など消防全体に係る費
用

9811万円

特別会計予算

7 会計予算総額 16 億 6320 万円

◆国民健康保険事業◆

予算総額 4 億 9400 万円

【主な歳出】

国民健康保険給付費	3 億 0212 万円
県への納付金	1 億 2839 万円
保険事業費	784 万円

◆渡船事業◆

予算総額 7200 万円

【主な歳出】

はまゆう運航費	3003 万円
さいかい運航費	1371 万円
総務費	1635 万円

◆介護保険事業◆

予算総額 4 億 0170 万円

【主な歳出】

保険給付費	3 億 6247 万円
地域支援事業費	3247 万円
総務費	673 万円

◆後期高齢者医療事業◆

予算総額 4540 万円

【主な歳出】

広域連合負担金	4019 万円
総務費	518 万円

◆国民健康保険診療所◆

予算総額 4 億 5100 万円

【主な歳出】

医薬材料費	1 億 4898 万円
新診療所関連委託料	4100 万円
医業用機械器具費	1234 万円

◆簡易水道事業◆

予算総額 7180 万円

【主な歳出】

光熱水費	632 万円
配水管布設替え工事費	400 万円
水質検査手数料	351 万円

◆下水道事業◆

予算総額 1 億 2730 万円

【主な歳出】

公債費償還金	8630 万円
公共下水道管理費	1857 万円
農業集落排水管理費	571 万円



指定管理者決まる

「野崎島ビジターセンター」は IT 協会

野崎島来島者の対応のほか、ガイドの強化や物販にも力を入れる。
神官屋敷は文化施設のため、指定管理には含まれず。
指定管理委託料は、年間 334 万円。

「古民家レストランふじまつ」は M.Y フード

M. Y フードは、今まで「ふじまつ」に携わってきた方が設立した会社。
食事の提供と、農水産物の販売を行う。指定管理委託料はなし。
町は地域おこし協力隊員を 1 名派遣する。



M. Y フード合同会社の遠山さんと平井さん

町の所有する公の施設のうち「野崎島ビジターセンター」は特定非営利活動法人おぢかアイランドツーリズム協会が、「古民家レストランふじまつ」は M・Y フード合同会社が、指定管理者として決定しました。
両施設とも公募をし、選定委員会での書類審査を経て議会に提出されたものです。
指定の期間は両施設とも、平成 31 年 4 月 1 日から 5 年間です。

監査委員に村田宏司さんを再任



監査委員に村田宏司さんを選任する議案が出され、議会は同意しました。任期は平成 31 年 4 月 1 日からの 4 年間です。

村田さんよりひと言
再び、小値賀町の監査委員を務めさせていただきます。ことになりました。

重責ではありますが、監査委員としての職務を自覚し、誠意をもって努めてまいりますので、町民の皆様方におかれましては、どうぞよろしくお願いいたします。

監査委員は、地方自治法に基づいて設置される、町の独立機関です。

町の財政事務や経営に関する事業の管理が、法令に従って適正かつ効率的に行われているかをチェックします。

人数は 2 名で、識見を有する者から 1 名が議会の同意を得て選任され、任期は 4 年。

あと 1 名は議員の中から選ばれます（現在は浦英明議員）。

補正予算

【一般会計】

補正して 36 億 8400 万円に

小中学校にエアコン 今夏は快適に

問 新年度でなく、年度末になぜ計上するのか。

答 国からの支援が30年度の補正予算のため、やむを得ない。
新年度に繰り越しとなる。

問 設置基数と工事の時期は。

答 小学校10基、大島分校4基、中学校13基。
夏までには工事を終えるよう、安全第一で工事を進めたい。

光ファイバー 開通は6月に

問 整備費用を新年度に繰り越すのはなぜか。

答 年度内に整備工事の完了が困難になったため、やむを得ない。

問 完成予定時期は。

答 6月頃には利用できるようにする予定だ。



【特別会計】

国民健康保険事業	229 万円増額	5 億 0009 万円に
介護保険事業	4474 万円減額	4 億 3045 万円に
後期高齢者医療事業	10 万円減額	4760 万円に
下水道事業	175 万円減額	1 億 3732 万円に
国民健康保険診療所	3076 万円減額	3 億 9573 万円に



新診療所建設用地の様子 (平成 31 年 3 月 24 日)

平成30年度特別会計各事業の予算額は、年度途中までの実績を確定し、残り期間の見込みを補正して計上されています。
なお、診療所基本設計業務は12月に入札が行われましたが、業務の時期の問題などもあって応札はなく、新年度に改めて行う予定です。
建設スケジュールに大きな影響はないとのことでした。

町長!

「高校生卒業レポートによる提言の町政での実現に向けて」

今田議員

町の施策として実現を

西町長

実現に向け前向きに取り組みます



質問する今田光弘議員

問 今田光弘議員

この卒業レポートは、ふるさと小値賀町の未来に強い危機感を持つ高校生が、どうしたら町の衰退を止め、地域の活性化が図られるか、真剣に悩み、考え、そして提案したものだ。

町の施策として取り組むべき価値が十分にある

提案であり、真剣に対応する必要がある。

彼らの提案した次の3点について、町長はどのように考え、どのように取り組んでいくのか伺う。

キッズルームを

建築士を目指すような人と組み、空き家をリフォームしてキッズルームやコミュニティスペースをつくってはどうか。

答 西浩三町長

子どもも家族も地域も笑顔になるキッズルームやコミュニティスペースは、定住者の誘致にも不可欠です。

それなりの広さや騒音対策も必要なため、空き家の利用は難しいとは思いますが、現在の診療所が移転した後の空きスペースの活用なども含め、前向きに検討

を進めます。

空き家を伝統工法によりリフォームするワークショップを行う「地域おこし企業人」の事業を通じ、全国の建築士を目指す学生にも情報発信しながら進めていこうと考えています。



古民家「弥三」(柳地区貞方邸)

小児科外来を

問 今田議員

子育て世代が時間的、経済的、心理的に不安を感じている医療環境、特に産婦人科と小児科について、設置は無理だとしても、定期的に専門医師に来てもらうことはできないか。

答 西町長

産婦人科外来は、受診者の少なさやプライバシーの面からも、大変難しいと感じます。

小児科は、先日の町民アンケートでも要望が多く、現在年に3回の小児科専門医健診を増やせないか検討していきたいと考えています。

小児科は突発的な病気で受診することが多く、患者数が少ないことも考えられます。まずは定期的に島の小児科を受診している子どもの数を把握し、試験的に専門外来を開設して患者さんの動

向を見極めたうえで、定期的に継続できるか検討していきます。



「じげ藻ん作戦」で

問 今田議員

藻場の復活のために、効果があると言われる「鉄炭団子」の特許を持つ杉本幹生氏を招いて直接指導していただき、町民一丸の「じげ藻ん作戦」につなげていってはどうか。

答 西町長

小値賀周辺では、もともと栄養塩が少なく、その分を潮流の速さで補っていたのではないかという見解があります。

しかし、磯焼けの直接的な原因でなくても、栄養塩不足が海藻の成長に影響を及ぼしている可能性を否定はできません。使用済み使い捨てカイロを利用した「鉄炭団子」の効果については、海外では潮に流されて拡散し、あまり期待できないのではないかとも言われています。

しかし、藻場再生に向けての町民一丸となったこの取り組みは、環境学習や郷土愛の醸成にも役立ち、町民が「自分ごと」と捉えるよい機会だと思えます。実施に向けての準備を担当に指示します。



場所によってはアマモの回復も

～おれにも言わせて～

～傍聴席からひと言～

この卒業レポートはどこに保管され、どこで閲覧できるのか気になります。小値賀に関する学会の資料等は探すことができますが、次につなげるためにも、ぜひ誰でも見られるようにしてほしいと思います。

(現在、議会事務局で保管・閲覧できますが、図書館でも閲覧できるように考えていきます。<立石議長>)

～質問を終えて～

人口減少・少子高齢化が進んでいるまさにその当事者として、町の未来に強い危機感を持っている彼らが、真剣に悩み、考え、提案したものです。

小中高一貫教育の集大成でもあるその提案を生かした町の施策が実現されれば、ふるさと小値賀町のことをもっと考え、もっと好きになって、いつか島に戻ってきてくれるきっかけとなるに違いありません。

町長からは実現に向けた前向きな回答をいただきました。

財源やいろいろな困難もあると思いますが、実現に向け、努力していただけるものと信じています。

町長!

「町政の継続について」

宮崎議員

町政継続のため三選出馬は

西町長

選挙で町民の皆さんの判断を仰ぎたい



質問する宮崎良保議員

問 宮崎良保議員

現在の町の状況を見ると、重要な案件が次々と生まれており、それらを解決するには町政の継続が極めて大きな問題だと感じる。
以下の5項目についての町長の考えを伺う。

町政のこれからは

ターミナル改良工事の完成時期と新上五島航路の今後の対応策は。

答 西浩三町長

ターミナルの改良工事は平成31年度中の完成を見込んでいます。
新上五島航路については、復活に向け関係者との協議をしていますが、

新上五島航路については、復活に向け関係者との協議をしていますが、

不定期航路としてでも大型連休前に復活できないか、県との協議も進めていきます。

問 宮崎議員

松枯れの状況が極めて深刻な状況だ。これ以上松枯れを拡大させないための新たな対策は。

答 西町長

松枯れは、まさに災害の状態です。
対策はいろいろ考えられますが、伐採・焼却を進めながら植林等についても検討を進めます。

引き続き町民皆様のご支援とご協力をお願いします。

問 宮崎議員

イノシシ対策の電気柵の更新時期を迎えている。

以前の貸出方式から本体購入費用の補助へとシフトしているが、消耗品にも費用はかかる。
新たな補助制度などは考えていないのか。

答 西町長

考え方がいろいろあるような話なので十分検討させていただきたいと思っています

問 宮崎議員

雇用拡充事業を利用して調剤薬局を開こうと考えている人がいるようだが、診療所との連携を促すような支援は考えているか。

答 西町長

診療所での待ち時間の短縮や、町外の医療機関を受診された方でも町内で薬の受け取りができるようになれば便利になると思います。

診療所とも十分協議し、できる限りの支援をしたいと考えています。



問 宮崎議員

交流人口を増やすために、野崎島の魅力度をアップしたり、問題点を洗いなおす協議会を立ち上げる考えはないか。

答 西町長

世界遺産登録は、終わりではなく始まりです。協議会を立ち上げ、問題解決に当たりたいと考えています。

三選出馬の意向は

問 宮崎議員

答弁を聴くと、やはり重要な案件が山積したままのようだ。

町の弱い財政力でそれらすべてを解決できるものではなく、国や県の支援は必要だ。

その点、町長の持っている県議会議員や国会議員との人脈は強く、これを活かせば町の施策を停滞なく継続できると思われる。

町政継続のために三選出馬の考えはないのか。

答 西町長

引き際が大事という言葉があり、一方で、大事な時だからこそがんばらなければならぬ、という考え方もあって大変苦慮しました。

町民の皆さんの判断にお任せするのも一つの方法かと思ひ、現状では、新人への交代が現在の町政の継続かを争点に、三選出馬の意向を強めているところです。

～おれにも言わせて～

～傍聴席からひと言～

松枯れ対策として、長年にわたり農業の空中散布や地上散布を行っていますが、枯れてしまうという事は、農業の効果はあるのでしょうか。これからの農業の散布を続けるのでしょうか。

(対策としていろいろな意見がありますが、薬剤防除の徹底と枯れた松を処分することに関しては、専門家間で一致しています。守る松と整理する松を区別して対応していこうと考えています。<産業振興課長>)

～質問を終えて～

統一地方選挙が迫る中、松枯れ問題や有害鳥獣問題、ボーディングブリッジ新設、雇用拡充事業により雇用環境ができたが今後これらを維持し続けることができるか、あるいは診療所の建設や運用方法などの問題が山積しているにもかかわらず、町長は事業の継続を明示していません。

一方、財政の乏しい中で、国や県の後押しは必須であり、現在の国の省庁などとの良好な関係の維持が、今後も町の活性化に貢献すると思います。

3期目を目指すのか、あるいは後継者に引き継ぐのか、町長からは何ら示されておらず、噂ばかりが先行しています。

そのため、町長の考えを公表すべきと考え質問しました。

投票はあなたの意思表示！

小値賀町長選挙・町議会議員選挙

投票日 平成31年4月21日(日) 07:00～18:00
(大島・納島は4月20日(土) 07:00～16:00)

期日前投票 4月17日(水)～4月20日(土)
08:30～20:00 役場1階

委員会の動き

総務文教厚生常任委員会

松屋治郎委員長



離島留学制度 ていねいな対応を

防災計画関連

自助・共助・公助の意識の向上、防災訓練の必要性などについて調査・研究し、救命訓練も行いました。

今後も防災意識を高める活動をしていきます。

離島留学制度関連

高校の存続や町の活性化につながる有効な手段ですが、留学生や里親へのていねいな対応を求めています。

保小中高一貫教育や、学校・家庭・地域全体で子どもを育てるなどの取り組みを行っている島根県飯南町の現地視察・研修も行いました。

定住者増にもつながるこの取り組みを今後にかしていきます。

診療所建替え関連

建設予定地の安全性・利便性・敷地面積・地盤強度などについて、専門家を現地に招いたり、地盤調査の結果も参考に検

討し、現在の予定地を容認することとしました。

今後、医師や看護師の確保など難しい問題もありますが、町民が安心して利用できる診療所になるよう、委員会として注視していきます。

こども園関連

経年劣化などによる不具合を現地調査し、担当部局と改修場所や方法などについて協議しました。

また、保育士を確保する方策の検討もしています。

光ブロードバンド関連

先進地の大阪府池田市に県及び役場担当者同行、問題点などの調査とヒアリングを行い、整備方式を検討しました。

今年6月からの運用開始にさまざまな活用を期待する一方、二次離島での整備方式についての検討も進めます。



畜産関連の調査・研究もしています

産業建設常任委員会

横山弘藏委員長

当委員会では昨年11月、視察研修として島根県邑南町を訪れました。邑南町は6次産業の推進、観光産業の育成、A級グルメなどで町の活性化に積極的に取り組み、全国から視察研修が相次いでいます。

新たな地域ブランドを

A級グルメとは、町内で生産される農林産物を素材とした「ここですか味わえない食や体験」のことで、新たな地域ブランドを築き上げることで、関連産業の活性化を目指す取り組みです。

また、全国でも珍しい、農業から調理までできるシェフの人材育成も行っています。

環境保護を観光に

観光面では、森林資源保護による水源確保や、オオサンショウウオやホタルが生息できるきれいな水の保全など、豊かで美しい自然環境をいつま

でも保てるような取り組みをしています。これらの取り組みを通して、年間100万人の観光客を呼び込もうとしています。

謙虚に耳を

他にも、町立の「食の学校」が設立され、6次産業化の推進に向けた地元食材の活用、研究、新商品の開発及びテストマーケティングなどに取り組んでいます。

小値賀町でも、いろいろな分野で邑南町に負けない努力をしていると思います。他の自治体の活性化対策に謙虚に耳を傾け、学ぶべきところはしっかりと学んで、今後のまちづくりに取り入れたいものです。

4年間の動き

議員の任期は4月で満了

議会・議員活動は幅広く行われていますが、任期4年間の活動の一部をまとめてみました。議会と議員の柱となる「小値賀町議会基本条例」を平成28年7月に制定し、町民の皆さんの声を聴きながら、開かれた議会を目指しています。

本会議と会期中委員会

(日数)	1年目	2年目	3年目	4年目
本会議	18	16	16	14
会期中委員会	5	5	5	5

(予算特別委員会のように会期中に会場を移し集中して審議する委員会)

全員協議会

(日数)	1年目	2年目	3年目	4年目
全員協議会	26	22	18	23

(議案の審査や議会の運営について全議員で話し合う場)

常任委員会(視察研修含む)

(日数)	1年目	2年目	3年目	4年目
総部文教厚生	14	17	14	12
産業建設	12	9	8	10

(町の所管事務の調査や議案等の審査を詳しく行うための常設の委員会)

出前議会・議会と語ろう会・フリートーク

	1年目	2年目	3年目	4年目
回数	3	20	19	19
参加町民数	15	212	230	248

(議会活動を地域に出向いて町民に直接報告・説明したり、町民が議員と意見交換できる場)

4年間にこんな質問をしました

(議長は除きます)

議員番号	議員名	質問回数	質問項目数	質問項目
7	宮崎良好	6	6	①不慮の災害時の対応 ②小値賀空港の利活用 ③町内に設置している街灯の更新 ④世界遺産登録後の野崎島の利活用 ⑤町長の2期目の4カ年における町政運営 ⑥町政の継続
6	横山弘藏	9	11	①空き家対策 ②観光産業の振興対策 ③教育振興 ④国境離島新法成立後の対応 ⑤消防体制の充実 ⑥高齢者人材センターの創設 ⑦国民健康保険の運営と課題 ⑧世界遺産登録を見据えた野崎島の運用 ⑨離島留学制度 ⑩医師の2名体制 ⑪こども園の運用
5	浦 英明	2	2	①一般財団法人小値賀町担い手公社の事業内容と運営 ②通学路の安全対策とイノシシ捕獲対策
4	土川重佳	1	1	①まち・ひと・しごと地方創生総合戦略
3	末永一郎	4	4	①漁業者の所得向上対策 ②独居老人対策 ③これからの藻場再生の対策 ④野崎島を含めた観光
2	松屋治郎	5	5	①ジェネリック医薬品の普及 ②養寿園前防波堤壁画の修復 ③小値賀町の人口対策と地方創生 ④地方創生実現のための人的施策 ⑤観光産業を中心とした官民協働の地域づくり
1	今田光弘	11	11	①「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産の登録に向けた取り組みと観光に対する町の基本姿勢 ②通学路における生徒児童の安全確保 ③イノシシ対策 ④園地等の管理と公衆トイレの管理及び設置 ⑤今般のごみ焼却場からのダイオキシン大量発生に係る経緯と対応及び今後のごみ処理全般の考え方 ⑥新診療所の建設予定地 ⑦小値賀町の職員が公務のために国内を旅行する際に支給される食卓料の廃止と宿泊料の見直し ⑧人口減少に歯止めをかけるために移住者を増やす。そのための住宅の確保 ⑨五島産業汽船等の航路の運休の現状と対応 ⑩人口減少に歯止めをかけるための移住・定住者を受け入れる体制の強化 ⑪高校生卒業レポートによる提言の町政での実現

通年会期制を活かせ

厳しいご意見・ご指摘も

「議会モニター」意見交換会



議会では、町民の皆さんの意見を議会活動に反映させるため、「議会モニター」を設置しています。現在モニターは4名。先日、意見交換会を開催し、いろいろなご意見・ご指摘をいただきました。

本会議で気になったこと

- 課題山積なのに、一般質問の数が少ない。
- 傍聴者が少ない。町民の関心を引くような回覧の書き方の工夫を。
- 通年の会期制であることが活かされていない。緊急的なものはいつでも質問したり、陳情などの行動が求められる。

出前議会について

- もう少し柔らかな名称を。出席しやすい表現が必要だ。
- 町民自体の議会に対する意識が少ない気がする。

議会だよりについて

- 発行が早く、議員も大変。よくやっている。
- 内容が豊富で難しいところもあるが、説明などが入っているとところは大きい。

変良い。

- 一般質問を終えての感想が面白い。
- 一般質問の継続性などに触れた記事もあったらいいと思う。

議会改革の取り組みについて

- 本会議での、町長と議員の丁々発止のやり取りを期待する。
- 町長から「あなたはどう思うか」というような質問ができないか。
- 意見を言う時にはガンガン言える議員を期待する。

議員のなり手不足の問題について

- 生業として活動する仕組みを制度として作るべき。
- 地区別に選出する代表制などは考えられない

か。
○女性議員の枠を決めて選挙するのはどうか。

議会が、町の将来のためになくはならない存在と実感してもらうために、ご意見を活かしていきます。今後ともよろしくお願いします。

(立石議長)



(表紙の写真)

「高校生卒業レポート」

小中高一貫教育の集大成ともいえる卒業レポート。少子化を実感している彼らだからその危機感を私たちがしっかり受け止める必要があります。

編集 小値賀町議会広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電話 0959-56-3111

24年分の編集後記

平成7年の初当選から6期24年の長きにわたり、そのほとんどの期間をこの議会だよりに携わらせていただきました。

毎回、地獄のような編集期間でしたが、今振り返ると、大変だったことがどこかへ吹き飛び、満足感でいっぱいです。

今から20年ほど前に当時の故川村議長から、「おちか議会だより」を全国のコンクールに出したらどうかと言われたことがあります。

「まだまだ、その域には達しておりません」と断って18年、全国町村議会議長会から一昨年には奨励賞、昨年は優良賞を頂く栄誉に浴することができました。

歴代の編集委員を務めた議員各位の汗と涙が、この議会だよりをここまで成長させたのだ感慨深く思います。

今回、発行責任者としての任を終えますが、今後更に素晴らしい議会だよりになっていきます。これから、ご愛読のほどをお願いします。24年間の私の編集後記とします。

小値賀町議会議長 立石隆教